



# BUSINESS REPORT 2021

T O B E T H E L E A D I N G F O O D S E R V I C E E N T E R P R I S E



COourage LOve Wisdom DEcision  
Colowide's name expresses our attitude toward our efforts to  
provide more comfortable, enjoyable settings.

第**60**期 事業報告書

2021.4.1—2022.3.31



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
さてここに、当社グループの第60期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）  
の業績についてご報告申し上げます。

代表取締役社長 野尻 公平

### ■ わが国の経済動向

当連結会計年度におけるわが国経済は、自動車や半導体製造装置、鉄鋼などの輸出が比較的堅調だったものの、資源・エネルギーや原材料の価格高騰によって輸入が更に膨らみ、2年ぶりの貿易赤字となりました。また個人消費につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大とその一時的な沈静化によって緊急事態宣言等の発出・解除が繰返されたため、消費マインドの持続的な高揚には至らず、停滞感の強い状態で推移致しました。

### ■ 外食産業の動向

外食産業におきましては、食材価格や物流費の高騰、人手不足などに悩まされているほか、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって店舗の休業や営業時間の短縮、アルコール類提供の休止といった制約を受けました。更に消費者のライフスタイルの変化から外食需要が減少するとともに、来店時の滞在時間の大幅な縮小や宴会の自粛傾向も続いております。このため従来なら繁忙期はずの年末年始や年度末においても、収益低迷を余儀なくされました。打開策の一環として、テイクアウトやデリバリーへの注力、バーチャルレストランの展開などを行っているとはいえ、中食との競合がこれまで以上に激化し、厳しい経営環境が続いております。

### ■ 感染防止対策を徹底した店舗運営と ESGの取組みを推進

このような状況の中、当社グループにおきましては、引続き「すべてはお客様の為に」をモットーにQSCA（Q:品質、S:サービス、C:清潔、A:雰囲気）を高め、家庭ではなかなか体験できない様々な料理や高レベルのサービスをお客さまに提供することによって、

「楽しかった、美味しかった」とお客さまに喜んで頂けるよう心掛けております。また新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑止のため、従業員の健康・衛生管理の強化、お客さまに対する入店時の検温・手指のアルコール消毒並びにマスク会食依頼、店舗内における密閉・密集・密接の回避など、様々な対策を講じております。

そして中食を上回る上質でお値打ち感のあるランチメニューやテイクアウト商品の強化、ショッピングセンター内のフードコートへの出店、「個食」への対応、他社の事業所や医療機関、公務員関連施設に向けた給食事業の展開などを行いました。更に料理に必要なカット済みの食材や調味料・ソースをセットにして、完成度の高い食事を短時間で作れるようにする「ミールキット」の開発・提供や、ESG（環境、社会、ガバナンス）推進の一環としてセントラルキッチンで近隣生産農家から調達した食材の残渣を堆肥化し、生産農家に還元する地域循環活動にも取り組んでおります。また従業員のモチベーションやスキルを高めるため、メンター制度を導入するとともに、研修用のWEBセミナーも開催しております。

### ■ コスト管理の取組み強化

コスト面では、引続き費用対効果の精査に努め、損益分岐点の引下げを鋭意図っております。そのため従業員の適切な配置転換による人材の活性化や配膳ロボットの導入、分単位の適正労働時間の算出に基づく人件費の削減、賃借物件の家賃契約をはじめとする各種契約の見直しによる費用圧縮などを行いました。また業態転換或いは業態集約、提供メニューの工夫に基づく使用食材の歩留まり向上、需要予測の精緻化による食品廃棄ロスの低減、物流拠点の集約及び物流ラインの整理などに基づく物流全体の最適化なども進めております。

## ■ 店舗政策

店舗政策につきましては、直営レストラン業態を22店舗、直営居酒屋業態を5店舗、合計27店舗を新規出店致しました。一方、不採算や賃借契約の終了などにより直営レストラン業態を41店舗、直営居酒屋業態を28店舗、合計69店舗を閉店致しました。その結果、当連結会計年度末の直営店舗数は1,433店舗となりました。尚、FC店舗を含めた総店舗数は2,785店舗となっております。

## ■ 財務体質の強化と海外事業

財務面では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑止のための時短営業協力金及び雇用調整助成金の申請を行ったことや、昨年9月の公募増資1,000万株及びオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資159万株によって、財務体質の強化を図ることができました。

海外事業につきましては、東南アジアや北米において、経済の活性化と新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑止を両立させる動きが強まっていることから、回復感が出てきております。

## ■ 業績について

以上のような施策を積極的に進めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による営業制限や、外食を自粛或いは来店時における滞在時間を短縮する傾向が続き、既存店の売上収益は新型コロナウイルス禍が顕在化する以前の水準には戻っておりません。

このような状況もあり当連結会計年度の連結業績につきましては、売上収益が1,756億27百万円、事業利益が61億33百万円、当期利益が30億68百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益が14億37百万円となりました。

## ■ 2023年3月期の取組み

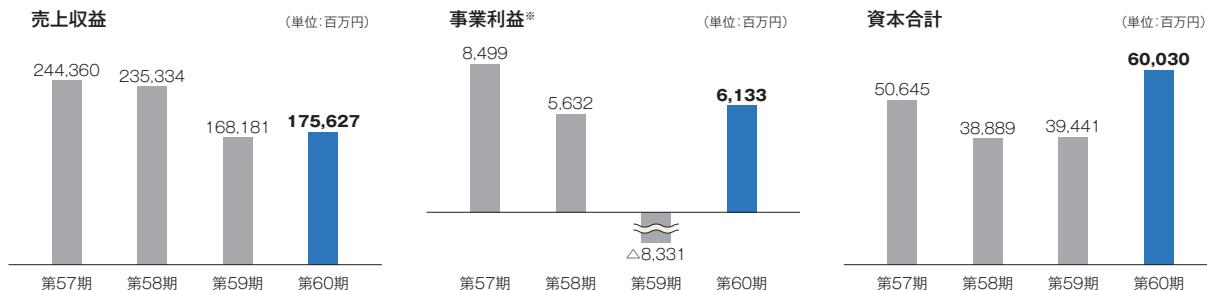
2023年3月期につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への懸念が収まらず、また世界情勢の不確実性の増大による経済の減速など予断を許さない状況が続いております。外食産業におきましては、引続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑止への徹底的な対応が求められると考えられますが、これと同時に食材価格及びエネルギー価格の高止まりによるインフレの進行や、社会の「ウイズ・コロナ」化に伴う消費者のライフスタイルの一層の変化などに向けた新たな施策も必要になっております。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては、インフレ対応の一環として提供メニューの工夫に基づく食材使用の効率化及び食品廃棄ロスの低減や、物流拠点の集約を引続き進めることにより、一層の効率化を図る所存です。「ウイズ・コロナ」対策としては、都心やオフィス街などへの店舗立地戦略を継続的に見直すとともに、営業開始時間を前倒して深夜時間帯を当て込んだ営業からの脱却を図っております。また中期経営計画において示していた他社の社員食堂・介護施設・医療機関・公務員関連施設などへの給食事業を拡大させております。更に長期に亘って成長を続けるため、ESG（環境、社会、ガバナンス）への対応や、サステナビリティの推進にも注力しております。

これらの取組みによって、経済環境が変化しても収益が左右されにくく、高い安定性と成長性が見込める企業体質に進化することを当社グループは目指しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 連結財務ハイライト



\*事業利益＝「売上収益-売上原価-販売費及び一般管理費」により計算しております。

## 社名の由来

COLOWIDE (コロワイド) の社名にこめられた意味

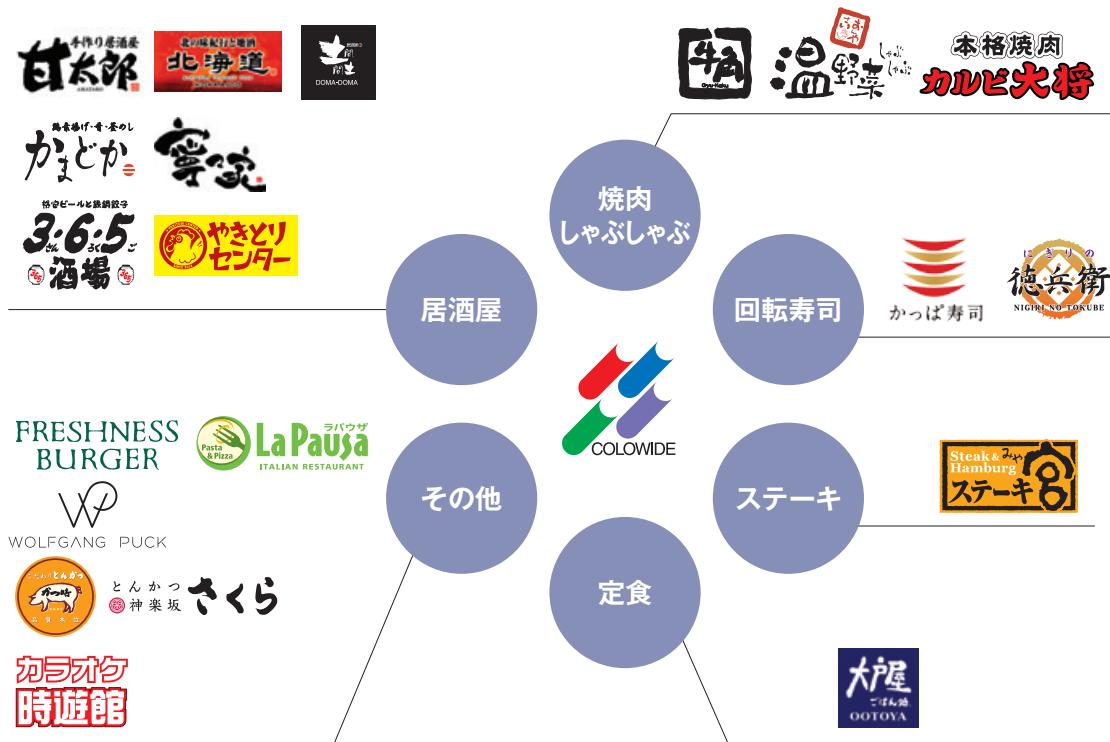


- CO …… 勇気 (Courage)
- LO …… 愛 (Love)
- WI …… 知恵 (Wisdom)
- DE …… 決断 (Decision)

### 4つのファクターをひとつに

コロワイドの社名は、人が生きていく上で大切な4つのファクターを、ひとつにまとめたものです。従業員一人一人がこの4つの大切な精神を常に心にきざみ、未来にチャレンジしていく強い意志と勇気がこめられた社名です。

## 業態別コアブランド



# グループ体制と出店状況

## ■グループ体制 (2022年3月末現在)



**株式会社コロワイド  
(持株会社)**

東証プライム 証券コード 7616

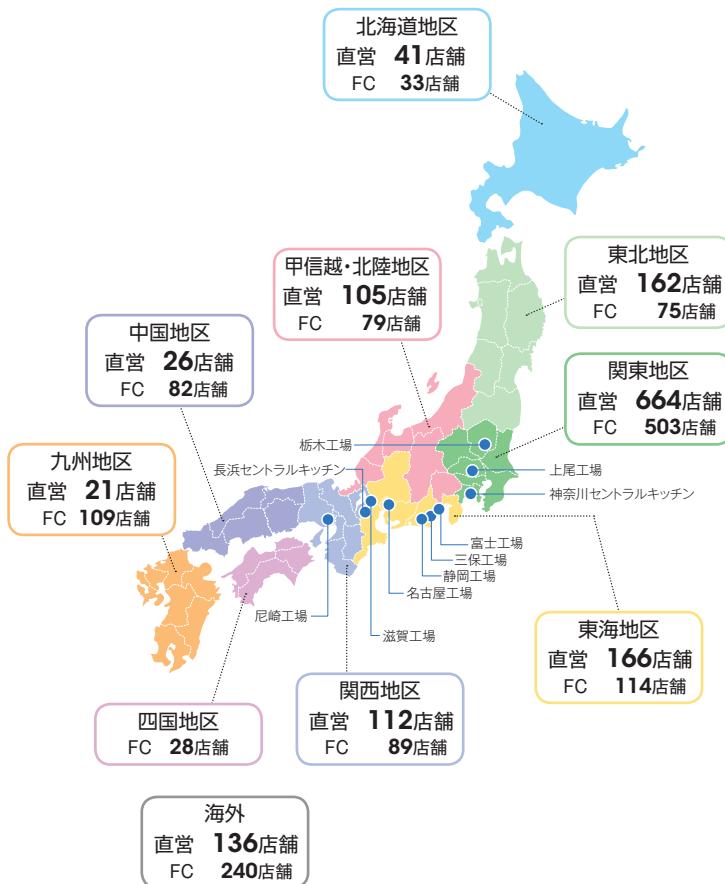
この他に、中間持株会社として  
(株)レックス、(株)SPCレックス、  
(株)SPCカッパ及びAME-GYU  
CO.,LTD.があります



## ■地域別店舗分布及びセントラルキッチン網 (2022年3月末現在)

直営店  
**1,433**店舗

FC店  
**1,352**店舗



# ウイズ・コロナ時代の成長戦略

## 事業環境の変化と、変化に順応した取組み

<p>コロナ禍の影響長期化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフスタイルの変化</li> <li>・新たな人流トレンド、深夜時間帯のニーズ減少</li> <li>・デジタル化の進行</li> </ul>	
<p>外食産業を取巻く環境の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者嗜好の明確化</li> <li>・労働力人口の減少と人材争奪</li> <li>・人件費、物流コストの高騰</li> </ul>	
<p>インフレ・円安の進行</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原材料価格の高騰</li> <li>・輸入商品の価格変動</li> </ul>	

### ウイズ・コロナ戦略

- 店舗の在り方
- ニーズ変化への対応
- DX推進

### 変化への対応

- インフレの影響、対策
- マーチャンダイジング機能の更なる進化
- 給食事業の展開

## ウイズ・コロナ戦略

### ■ ライフスタイルの変化に順応した店舗戦略

#### 生活立地への出店強化

都心やターミナル駅前立地から、生活立地への出店へ

#### 店舗改装（体験価値の提供）

コロナ禍を経て求められる空間やサービスのための改装

#### テイクアウト・デリバリー対応

テイクアウト・デリバリーニーズへの取組み強化

### ■ 嗜好の変化や新たな人流トレンドに適応した施策の実施

アルコール業態から  
レストラン業態へ

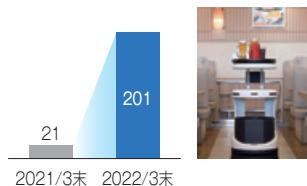
法人・多人数対応から  
個人客・少人数向けへ

多彩なメニュー開発

## DX推進 2022年3月期におけるデジタル化の進捗状況

### フロアサービスロボ

配膳ロボ導入店舗数



### スマホオーダー

スマホオーダー導入店舗数



### 自動案内システム

自動案内導入店舗数



### UI/UXの改善、SNSの活用

Web/モバイルテイクアウト  
オーダー導入店舗数



## 変化への対応

### マーチャンダイジング機能の更なる進化

#### 研究開発



グループの研究開発の一元化を担う「MD研究所」(仮称)の開設を2022年10月1日に予定

- ・業態間の連携による歩留まりを意識したメニュー開発
- ・食品廃棄ロスの低減

#### 原材料の生産・調達



#### 一次産業への参入強化

- ・「養殖事業」の推進に向けた取組みの強化
- ・「水耕栽培事業」の拡大

#### 製造



#### 製造効率を上げる取組み

- ・工場機能の再編による生産性の向上
- ・内製品と外注品の見直し
- ・ミールキット化推進

#### 物流



#### 2024年問題に備えた物流対策

- ・物流拠点の集約(20拠点▶14拠点)
- ・配送頻度の見直し
- ・物流の合理化に向けた配送企業とのパートナーシップ強化

### 給食事業の展開

#### ▶ 外食で培ったメニュー開発力

- ☑ 飽きのこない多彩なメニュー設計
- ☑ 外食市場で磨き上げた「健康」と「味」の追求
- ☑ 管理栄養士によるメニュー開発



#### ▶ 衛生管理の徹底と省人化、省力化の実現

- ☑ 自社セントラルキッチンを活用(歩留まり向上、原価低減)
- ☑ HACCPに基づいた衛生管理
- ☑ ミールキットの導入





**REINS** international inc.  
株式会社レイズインターナショナル

「牛角」「しゃぶしゃぶ温野菜」を中心に  
国内外で直営店・FC店を展開

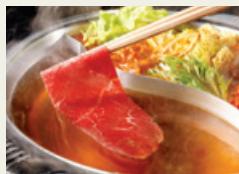
「牛角」「しゃぶしゃぶ温野菜」居酒屋「甘太郎」など国内における直営飲食店の運営の他、国内外でFC（フランチャイズ）事業を展開しています。1,000店を超えるFC店舗へもコロナ禍MDのマーチャンダイジング機能が有効に活用され、大きなシナジーを生んでいます。また日本国内で気軽に楽しめる食文化として定着している焼肉は、海外でも「YAKINIKU~JAPANESE BBQ」として普及しつつあり、アジア・北米において「牛角」「温野菜」を中心に262の店舗網を構築し、事業のグローバル化を進めています。



甘太郎



牛角食べ放題専門店(外観)



しゃぶしゃぶ温野菜



牛角



郊外型レストラン「ステーキ宮」をはじめ  
目的性の強い外食ニーズに対応

主に中部、東北、北関東地区において、郊外型レストラン、居酒屋を中心に直営店およびFC事業を展開しています。「ステーキ宮」をはじめ、グルメ回転寿司「にぎりの徳兵衛」、焼肉「カルビ大将」、居酒屋「寧々家」など、来店目的が明確な業態展開と家庭ではなかなか味わうことのできないお食事の提供によって、お客さまの体験価値向上に取り組んでいます。現在、アトムでは外食事業を通じ、安定した食のインフラの一部となることで、地域・社会への貢献を目指しています。



ステーキ宮



にぎりの徳兵衛



カルビ大将



時道館(外観)



**カッパ・クリエイト**

「かっぱ寿司」のフルオーダー改装を推進  
回転寿司のパイオニア

回転寿司事業である「かっぱ寿司」のリブランディングに取り組むカッパ・クリエイトは、リーディングカンパニーとしてのポジションを奪回するため、新たなマーケティング施策の推進、店舗の全面改装に取り組んでいます。従来の回転レーンをなくして、“できたて”をお届けするフルオーダー改装、スマホオーダー・スマホ決済、自動案内システムの導入などを進めるとともに、「かっぱ寿司、うまい品質宣言」により回転寿司屋を超える“寿司屋品質”の実現を目指しています。「かっぱ寿司」は国内に309店舗。“回転寿司のパイオニア”として、お客さまへより美味しく安全・安心、リーズナブルなお食事の提供に努めてまいります。



かっぱ寿司(外観)



かっぱ寿司



スマホオーダー



かっぱ寿司



**大戸屋ホールディングス**

国内外で「大戸屋ごはん処」を展開  
健康的でおいしい「にっぽんの食卓ごはん」を提供

家庭らしさのある定食メニューを充実させている「大戸屋ごはん処」を国内外の直営店とフランチャイズ事業にて展開しています。“ちゃんと、すこやか”をモットーに無添加食材を使用。栄養バランスのとれた、健康的でおいしい「にっぽんの食卓ごはん」を提供する定食屋チェーンとして、今日まで幅広いお客さまに支持されています。“大戸屋”ブランドの冷凍食品は全国の主要スーパーマーケット、オンラインショップでの販売もスタート。「大戸屋のお弁当」のテイクアウト、デリバリーともあわせて、大戸屋ならではの“ほっとする味わい”をいつでもご家庭でお楽しみいただけるようになりました。



大戸屋(外観)



冷凍食品



大戸屋



大戸屋のお弁当



コロワイドグループ全体の  
マーチャンダイジング機能の要として

研究開発、生産・調達、製造、そして物流までのバックヤード業務を支える要として、グループのマーチャンダイジングの中枢を担っています。お客さまのご要望をスピーディーかつフレキシブルに、商品やサービスへと反映させるシステムは、他社店舗にはない価値をグループの店舗にもたらしめます。

今後もグループ全体の購買力の活用、内製化による価格低減の実現、そして安全安心な基準により、お客さま価値とグループ利益の最大化を目指してまいります。



物流拠点



三保工場



水耕栽培



セントラルキッチン



おいしさと安全・安心の「食」を提供  
グループの「デリカ事業」を牽引

全国5工場で製造した調理パン、米飯、惣菜、寿司、デザート類を関東、北陸、東海、関西、九州地方の大手スーパー、コンビニ向けに販売する「デリカ事業」を展開しています。食品安全マネジメントの国際規格であるISO22000認証に基づく業界最高水準の食品衛生管理を徹底。安全・安心の「食」の提供を追求しています。



「ステーキ宮」創業時の味を守り続ける

ステーキ専門店チェーン「ステーキ宮」で創業時から受け継がれ、多くのファンを抱える「宮のたれ」の製造及び販売を行っています。これまでのスーパーマーケット、小売店での販売に加え、オンライン通販にも進出。加熱殺菌処理を施していない本格的な「生のたれ」をご家庭でも気軽にお楽しみいただけます。



外食市場で磨き抜かれた  
安全・安心でおいしい給食の普及を目指して

事業所給食に始まり、現在は官公庁、病院向け計12事業所の給食を受託、運営しています。外食市場で磨き抜かれたメニュー開発力と「味」へのこだわり、セントラルキッチンを活用したコストダウンの実現、HACCPに基づいた衛生管理の徹底などにより、安全・安心でおいしい給食の更なる普及を目指しています。



## FRESHNESS BURGER

上質な食生活を提案する  
「大人がくつろげるバーガーカフェ」

こだわりの食材とくつろげる空間づくりが評判の「フレッシュネスバーガー」を170店舗運営しています。健康を第一に考えた国産新鮮生野菜を使用。肉本来の旨味が詰まったジューシーな食感のビーフパティは、身体にやさしい大豆を原料としたソイパティにも変更できるようになりました。



WOLFGANG PUCK

ウルフギャング・バック氏プロデュースによる  
本格的カリフォルニアレストラン

アカデミー賞®公式シェフ、ウルフギャング・バック氏がプロデュースするカリフォルニア料理店を運営しています。カジュアルに楽しめるパスタ&ピッツァから本格的ディナーまで各シーンでお楽しみいただけます。



生チョコ発祥のお店から、  
心のこもった洋菓子をお届け

1988年この世界でたった一粒の生チョコレートが、シルスマリアの工房で当時の職人の手によって生まれ「生チョコ」と命名されました。その後何人もの職人の手によって伝統は継承され、未来に残るスペシャルな味を作り続けています。



ワールドピッコロ

セルフオーダーシステム販売  
国内トップシェア

飲食業向けのセルフオーダー専用端末、集客システム等の開発販売を行っています。コロナ禍で顕在化した省人化と非接触ニーズにより、タッチパネル式のセルフオーダータブレット「メニウくん」、スマートフォンを活用した「スマートメニウくん」など、グループ外への販売も拡大しています。



「メニウくん®」



ノーマライゼーションの理念に基づき、  
社会参加の機会を拡大

「障がい者の社会への完全参加と平等」の理念に基づき特例子会社として設立されました。各種販促ツールの制作から請求書処理、野菜の一次加工など、障がいのある社員も他の社員と同様、活躍のフィールドを広げています。



## 海外グループ

### ■REINS INTERNATIONAL (USA) CO.,LTD.

北米における直営飲食店の運営及びFC事業  
※子会社9社を含む

### ■台湾瑞滋國際股份有限公司

台湾における直営飲食店の運営

### ■東京牛角股份有限公司

台湾における直営飲食店の運営及びFC事業

### ■REINS INTERNATIONAL (SINGAPORE) PTE.LTD.

東南アジアにおける直営飲食店の運営及びFC事業  
※子会社1社を含む

### ■REINS INTERNATIONAL (THAILAND) Co.,LTD

タイにおける直営飲食店の運営

### ■PT.REINS MARINDO INDONESIA

インドネシアにおける飲食店の運営及びFC事業

### ■COLOWIDE VIETNAM.,JSC.

ベトナムにおける直営飲食店の運営

### ■カッパ・クリエイトコリア株式会社

韓国における直営飲食店の運営

### ■COLOWIDE ASIA CO.,LTD.

海外(アジア)での製造及び店舗展開における投資会社

### ■AMERICA OOTOYA INC.

アメリカ合衆国における直営飲食店の運営  
※子会社1社を含む

### ■香港大戸屋有限公司

香港における直営飲食店の運営

### ■OOTOYA ASIA PACIFIC PTE. LTD.

シンガポール共和国における直営飲食店の運営

### ■M OOTOYA (THAILAND) CO.,LTD.

タイにおける直営飲食店の運営  
※関係会社1社を含む

### ■VIETNAM OOTOYA CO.,LTD.

ベトナムにおける飲食事業の直営展開

## サステナビリティ基本方針

私たちは、企業理念である「すべてはお客さまと社員のために」の考えのもと、  
食のインフラの担い手として、社会の持続可能な発展への貢献と企業価値の向上を目指します。

## コロナワイドの5つのマテリアリティ

コロナワイドグループはサステナビリティ基本方針に従い、ステークホルダーの期待や要請に応じていくため、重点的に取り組んでいく5つのマテリアリティ(重要課題)を特定いたしました。

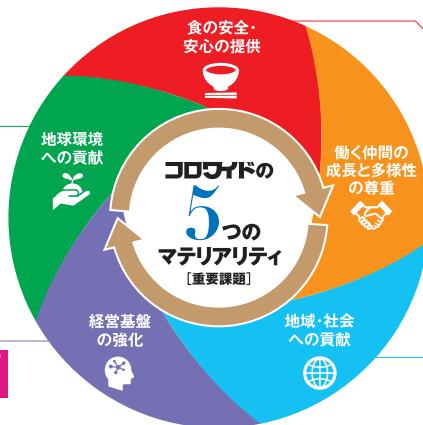
### 地球環境への貢献

- ・気候変動への取組み
- ・食品ロス・食品リサイクル
- ・持続可能な食材の調達



### 経営基盤の強化

- ・コーポレートガバナンスの強化
- ・コンプライアンス



### 食の安全・安心の提供

- ・食の安全・安心
- ・快適な店舗づくり
- ・責任あるアルコールの提供



### 働く仲間の成長と多様性の尊重

- ・多様な人材の活用
- ・ダイバーシティの推進
- ・働き方改革の推進



### 地域・社会への貢献

- ・地域貢献・教育機関連携
- ・職場体験学習推進



## 主な課題と活動状況

### 気候変動への対応

- 店内照明の全店LED化
- ドライアイス使用量の削減
- 自然冷媒の使用



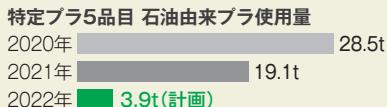
#### 2030年度目標

2020年度対比 原単位\*で**50%削減**

\* 売上高百万円あたりの排出量

### プラスチック削減

- 石油由来プラスチックストローの全廃
- 環境に配慮した容器や消耗品の活用
- バイオマスレジ袋への全面切替



#### 2023年度目標

特定プラ5品目**全量環境配慮型**へ

### ダイバーシティの推進

- 女性活躍推進プロジェクト
- 外国人雇用の推進
- キャリアチャレンジ制度の導入



2026年度目標 **30%** 2026年度目標 **30%**



# 連結財務諸表 (IFRS基準)

## 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	当期	前期
	2022年3月31日現在	2021年3月31日現在
<b>資産</b>		
流動資産	70,936	62,236
非流動資産	196,762	205,246
<b>資産合計</b>	<b>267,698</b>	<b>267,482</b>
<b>負債</b>		
流動負債	78,709	104,141
非流動負債	128,959	123,899
<b>負債合計</b>	<b>207,668</b>	<b>228,041</b>
<b>資本</b>		
親会社の所有者に帰属する持分合計	50,300	31,086
資本金	27,905	18,530
資本剰余金	40,424	31,302
自己株式	△159	△159
その他の資本の構成要素	△450	△630
利益剰余金	△17,421	△17,958
非支配持分	9,730	8,355
<b>資本合計</b>	<b>60,030</b>	<b>39,441</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>267,698</b>	<b>267,482</b>

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期	前期
	2021年4月1日から 2022年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
売上収益	175,627	168,181
売上原価	78,939	75,524
売上総利益	96,688	92,657
販売費及び一般管理費	90,555	100,989
事業利益又は事業損失(△)	6,133	△8,331
その他の営業収益	2,516	1,745
その他の営業費用	3,594	6,762
IFRS営業利益又はIFRS営業損失(△)	5,055	△13,348
金融収益	897	2,421
金融費用	3,902	3,219
税引前利益又は税引前損失(△)	2,051	△14,146
法人所得税費用	△1,017	△2,953
当期利益又は当期損失(△)	3,068	△11,193
当期利益又は当期損失(△)の帰属		
親会社の所有者	1,437	△10,085
非支配持分	1,631	△1,109
当期利益又は当期損失(△)	3,068	△11,193

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期	前期
	2021年4月1日から 2022年3月31日まで	2020年4月1日から 2021年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,830	3,420
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,522	△12,924
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,511	15,890
現金及び現金同等物に係る換算差額	△686	△180
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	10,111	6,207
現金及び現金同等物の期首残高	38,422	32,215
現金及び現金同等物の期末残高	48,534	38,422

## 株主様ご優待 商品のご案内

株主様ご優待ポイントで  
お申込みいただけます。

本当に美味しいものを厳選いたしましたので、是非、お試しください。株主様ご優待ポイントでのみお申込みいただけます。

※食品の産地は、天候その他やむを得ない事情で変更になる場合がございます。※写真はすべてイメージです。

○掲載商品は2022年7月～12月末日までの引換商品です。

ご優待商品のお問い合わせは、株主様ご優待ポイントサービスセンター

☎ **045-228-9671**  
**0570-03-0312**

1

### バンノウ水産 厳選南鮭づくし

贅沢に南鮭の旨味を味わい尽くす！大トロ・中トロ・赤身各部位を余すところなくお届けします。



冷凍

1万2千ポイント

2

### 工場直送！バンノウ水産 三陸産銀鮭寒風干し

三陸の自然豊かな海で育った「銀鮭」を、自社工場できっくりと寒風干して仕上げました。凝縮された旨みを是非ご賞味下さい。



冷凍

1万2千ポイント

3

### 北海道産ゆめの大地豚 焼肉・しゃぶしゃぶ肉セット

北海道産【ゆめの大地豚】の焼肉としゃぶしゃぶ肉のセット【1.2kg】をご用意しました。



冷凍

9千ポイント

4

### 黒毛和牛肩ローススライス (しゃぶしゃぶ用)

黒毛和牛のしゃぶしゃぶ向けスライス肉です。きめが細かく柔らかい部位を厳選しました。



冷凍

8千ポイント

5

### はまやカレー カレーキット

はまやカレーのカレー3種とカレーに合わせたトッピング3種をセットでお届けします。



冷凍

6千ポイント

6

### 大戸屋 人気のお惣菜5種セット

大戸屋人気のお惣菜。お肉とお野菜、お魚を5種類詰め合わせ。ご家庭でお店の味をお楽しみいただけます。



冷凍

6千ポイント

7

### 自家製 ジャンボ餃子と焼売のセット

甘太郎本店で開発されたジャンボ餃子とみなどみらい食堂の看板定食のジャンボ焼売。冷凍のセットにてお届けします。



冷凍

6千ポイント

8

### フレッシュネスバーガー ハンバーガーキット

フレッシュネスバーガーのバンズとパティ、スープ2種をセットにてお届け。お好きなお野菜をトッピングしてお召し上がり下さい。



冷凍

6千ポイント

9

### ステーキ宮 ハンバーグと宮のたれセット

ハンバーグと【宮のたれ】をセットにてお届け。ご家庭でお店の味をお楽しみいただけます。



冷凍

5千ポイント

10

### 大戸屋 特選米

大戸屋のお米を、2kg3袋でお届けします。



常温

5千ポイント

11

### シルスマリア 生チョコ3種のセット

生チョコ発祥の店「シルスマリア」。人気の生チョコ3種類(シルスミルク、シルスピター、スノーベリー)を詰め合わせました。



冷蔵

5千ポイント

12

### ラ・パウザ レインフォレスト認証ドリップコーヒー

ラ・パウザではレインフォレスト・アライアンス認証を取得したコーヒー豆を提供しています。ご家庭でお楽しみいただけるよう、ドリップトップでお届けします。



ポスト投函

2千ポイント

株主様ご優待  
カードにて  
ご利用いただける  
店舗

コロナワイドでは、500株以上保有の株主の皆様には、コロナワイドグループでご利用いただける株主様ご優待ポイント(1万円相当)を、年4回「株主様ご優待カード」に付与させていただきます。

※詳細はホームページをご確認ください。

○3月末日の株主様… 6月と9月に付与(合計2万円相当) ○9月末日の株主様…12月と3月に付与(合計2万円相当)

店舗情報・ご予約は <https://www.colowide.co.jp/gs>

※都合により店舗は予告なく閉店することがございますので、あらかじめご容赦下さい。

甘太郎	NIJYU-MARU	和牛ステーキ 桜(那須高原店)
いろはにほへと	ステーキ宮	CANTINA
北海道	にぎりの徳兵衛	なぎさ橋珈琲
やきとりセンター	寧々家	カフェ&ピヤレストラン 宮
ラパウザ	カルビ大将	やきとん酒場ぎんぶた
三間堂	時遊館	かっぱ寿司
鼎眞屋	味のがんこ炎&がんこ亭	KITEKI
ウルフギャング・パック	かつ時	みなとみらい食堂
ほのぼの横丁	海へ	M.M MARKET&CAFE
カラオケ デイ・トリッパー	和処ダイニング暖や	トンテキ とん八
3・6・5酒場	海鮮アトム	
フレンチーナ	炭火焼処 鳥の蔵	

コロナワイドグループ店舗のうち、牛角・温野菜・かまどか・土間土間・ぶっちぎり酒場・牛角食べ放題専門店・牛角焼肉食堂・とんかつ さくら・鮎処「濱」・BAR「馬車道」・パンノウ水産・シルスマリア・フレッシュネスバーガー・Cheeseness Burger To Go・FRESHNESS/パン工房・焼肉 飛車角・LITORANEO・はまやカレー・大戸屋ごはん処・海外店舗等では、ご利用頂けませんので、ご了承下さい。詳しくは、弊社ホームページをご確認ください。

2022年6月末日現在

## 会社概要 (2022年3月31日現在)

商号：株式会社コロワイド  
所在地：神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号  
ランドマークタワー12F  
設立：1963年4月  
資本金：279億5百万円  
主な事業内容：1. 飲食店の経営  
2. 各種食料品の仕入販売及び加工販売  
3. 煙草、酒類の販売  
4. カラオケルームの経営

## 役員 (2022年6月28日現在)

代表取締役会長	蔵人金男
代表取締役社長	野尻公平
取締役	磯野健雄
取締役	松見大輔
社外取締役	李野純子
社外取締役	藤山雄治
取締役 監査等委員	宇田猛
社外取締役 監査等委員	谷充史
社外取締役 監査等委員	福崎真也
社外取締役 監査等委員	熊王斉子

## 株主メモ

事業年度：毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会：毎年6月開催  
基準日：定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】  
証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人

事務取扱場所

(郵便物送付先)

〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

☎ 0120-782-031

(インターネットホームページURL) <https://www.smbt.jp/personal/procedure/agency/>

【特別口座について】  
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法：電子公告

上場証券取引所：東京証券取引所

## 株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	普通株式	112,999,820株
	優先株式	30株
	第2回優先株式	50株
	第3回優先株式	100株

発行済株式の総数	普通株式	86,903,541株
	優先株式	30株
	第2回優先株式	30株
	第3回優先株式	90株

単元株式数	普通株式	100株
	優先株式	1株
	第2回優先株式	1株
	第3回優先株式	1株

株主数	普通株式	108,195名
	優先株式	1名
	第2回優先株式	1名
	第3回優先株式	1名

## 大株主

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,391	8.5
株式会社サンクロード	5,766	6.7
蔵人良子	4,062	4.7
蔵人賢樹	2,864	3.3
蔵人金男	2,675	3.1
鈴木理永	1,094	1.3
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,037	1.2
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	539	0.6
JP MORGAN CHASE BANK 385781	443	0.5
JP MORGAN CHASE BANK 385765	366	0.4

(注) 持株比率は自己株式(250,218株)を控除して計算しております。

